

## 浜岡原子力発電所 5号機 主蒸気止め弁の点検について (志賀 2号機で見られた金属粒の有無の確認)

平成 18年 11月 7日

北陸電力(株)志賀原子力発電所 2号機の高圧タービン内部で、主蒸気止め弁( 1)の製造時に用いたショットブラスト( 2)の金属粒が発見されたことをうけ、製造メーカーと仕様が同一である浜岡原子力発電所 5号機の主蒸気止め弁について、念のため分解点検を実施することとしました。

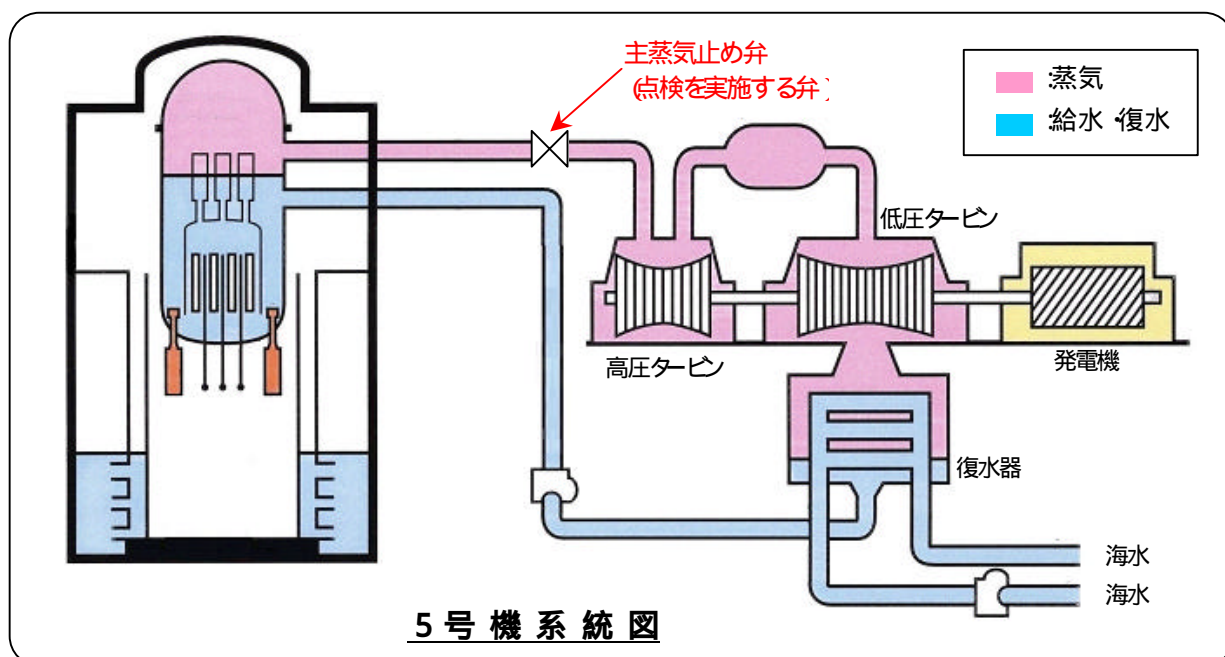
準備作業が終了し、本日(11月7日)より弁の分解を開始しましたのでお知らせします。

なお、浜岡 1～5号機において、志賀 2号機の高圧タービンで確認されたような事象は発生しておりません。

### 【志賀原子力発電所 2号機で確認された事象】

主蒸気止め弁の製造時に用いたショットブラストの金属粒が弁内部に残留していた(弁を分解点検したところ、弁内部の隙間に金属粒があった)ため、運転に伴う蒸気の流れにより高圧タービン内部に流入した。

(平成 18年 10月 12日 北陸電力プレス発表資料より)



- 1 主蒸気止め弁は、タービンへ流入する蒸気を遮断する弁です。
- 2 ショットブラストは、多数の金属粒を高速で金属材料に衝突させ、その材料表面を研磨する方法です。

以上